

コンデンサ設備で電力品質を向上し、 省エネに貢献

高圧進相コンデンサ設備 Q-PAC

ココが
ポイント

古い受電設備を新しくするだけで
電力使用量を大幅に低減できます

改善
効果

電力消費量約50%低減できます

背 景

コンデンサ設備はこれまで省エネの対象として見られる
ことがありませんでした。しかし、電力需給の逼迫もあり、
その省エネ効果が注目されています。

特 長

高圧進相コンデンサ設備(直列リアクトル付き)は、電気
エネルギーの効率利用を促進します。
新しい高圧進相コンデンサ設備に更新するだけで電力量
料金やCO₂排出量が大幅に低減できます。

事 例

輸送用機器製造業 A社

従来品の高圧進相コンデンサ設備を低損失形高圧進相
コンデンサ設備に更新(更新進相設備容量1,000kvar×30台)。
電力量料金、及びCO₂が約44%に低減。

輸送用機器製造業 B社

従来品の高圧進相コンデンサ設備を低損失形高圧進相
コンデンサ設備に更新(更新進相設備容量:600kvar×2台)。
電力量料金、及びCO₂が約60%に低減。

輸送用機器製造業 C社

従来品の高圧進相コンデンサ設備を低損失形高圧進相
コンデンサ設備に更新(更新進相設備容量:300kvar×4台)。
電力量料金、及びCO₂が約44%に低減。

電気機器製造業

標準品の高圧進相コンデンサ用モールド直列リアクトル
を低損失形高圧進相コンデンサ用モールドリアクトルに
新設(新設リアクトル容量:19kvar×11台)。
電力量料金、及びCO₂が約50%に低減。



高圧進相コンデンサ設備 Q-PAC